

第 3 回
日 本 腰 痛 研 究 会

平成 7 年 10 月 28 日 (土)
産業医科大学 ラマツィーニホール
小ホール

〒807 北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1
T E L 093-691-7444 (教室直通)
F A X 093-692-0184 (教室)

会長 鈴木 勝己
産業医科大学 整形外科

第3回 日本腰痛研究会 開催のご挨拶

鈴木 勝己

北九州で、本会を開催出来る事を、光栄に存じます。交通の便が悪くて、ご来会の皆様には、御迷惑をお掛けして、申し訳ありません。ささやかな、私共のキャンパスを見ていただきたい願いも御座いました。

教育研修講演は、新しい“腰痛検診の進め方”を、御多忙な大井淑雄先生に御願い致しましたので、現場で直ぐに、役立つ、お話が聴けると思います。一般演題は全国から23題採用させて戴きました。実地の豊かな、知見を期待できると存じます。8分講演、4分討論ですから、討論希望会員は、前もってマイクの前に、お並び下さい。座長、参会の先生方に実のある討論と円滑な進行をよろしく、御願い致します。教室の者は黄色のリボンをつけていますので、お困りの時は、御用命下さい。

私共では、毎秋、発展途上国のMDを集めて国際協力事業団の産業医学集団コースを行って来ています。その中でも、職業性腰痛を90分講義しています。ジャングルで生活している人々では腰痛が大変少く、日本の労災では年間6,000件、海外の先進国でも、之の支出の増大に悩んで居ます。大自然破壊のツケとも思われます。日本の国有林労働者では30パーセントに腰痛が見られました。

400万年2足歩行し、手で稼いで来た、私共の21世紀を立派にしたいものです。

御参会の皆様の御精進を期待しています。

平成7年10月28日(土)